



2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月1日

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東 名
 コード番号 1712 URL http://www.daiseki-eco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部長 (氏名) 珍道 直人 TEL 052-819-5310
 四半期報告書提出予定日 2019年10月9日 配当支払開始予定日 2019年10月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	7,031	△9.9	641	7.4	677	14.8	400	11.1
2019年2月期第2四半期	7,806	4.5	597	11.0	590	2.0	360	△4.2

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 481百万円 (35.6%) 2019年2月期第2四半期 355百万円 (△18.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	23.81	—
2019年2月期第2四半期	21.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	21,136	12,698	57.6	725.47
2019年2月期	21,405	12,289	55.2	703.33

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 12,186百万円 2019年2月期 11,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2020年2月期	—	3.00	—	—	—
2020年2月期（予想）	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,150	△0.3	1,040	15.8	1,070	18.3	630	11.7	37.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細については、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	16,827,120株	2019年2月期	16,827,120株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	29,469株	2019年2月期	8,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	16,808,574株	2019年2月期2Q	16,818,409株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の継続的な経済対策などにより、企業収益や雇用情勢の改善を背景として緩やかに回復基調が続いておりますが、一方で米中貿易摩擦をはじめとする海外の政治経済情勢の影響等により、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、開発用地取得の競争激化や建築費用の高騰等、懸念材料はあるものの、継続する低金利環境を背景に、国内外の投資家の投資意欲は旺盛であり、事業環境は堅調に推移いたしております。

このような背景のもと、土壌汚染調査・処理事業を中心にリサイクル分野への展開も積極的に進める一方、各工場等におけるコスト削減を推し進め、また、難処理物案件・工事処理一括案件等、付加価値の高い案件に注力した結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,031百万円(前年同期比9.9%減)、営業利益641百万円(同7.4%増)、経常利益677百万円(同14.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益400百万円(同11.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(土壌汚染調査・処理事業)

地域間およびグループ間連携による受注増や川上営業による新たな需要の開拓を進め、弥富リサイクルセンター・横浜恵比須リサイクルセンターの稼働率の向上と原価低減に努めましたが、売上高5,461百万円(前年同期比18.9%減)、営業利益681百万円(同8.2%減)に留まりました。

(廃石膏ボードリサイクル事業)

廃石膏ボードの荷動きが概ね堅調に推移したことに加え、土壌固化材の販売が昨年より引き続き堅調に推移した結果、売上高978百万円(同26.7%増)、営業利益201百万円(同24.6%増)となりました。

(その他)

主に、一般廃棄物処理事業の売上が前第2四半期連結累計期間と比較して増加した結果、売上高704百万円(同76.7%増)、営業利益129百万円(同259.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は21,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ269百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金、建物及び構築物が増加し、建設仮勘定が減少したことによりです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は8,437百万円となり、前連結会計年度末に比べ678百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金、長期借入金が増加し、支払手形及び買掛金、未払金が減少したことによりです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は12,698百万円となり、前連結会計年度末に比べ409百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想などの将来予測情報については、2019年9月18日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	806,489	933,597
受取手形及び売掛金	1,985,248	1,832,219
たな卸資産	381,859	374,269
その他	287,703	285,112
貸倒引当金	△4,313	△3,731
流動資産合計	3,456,987	3,421,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,039,329	6,475,783
土地	8,168,942	8,168,942
建設仮勘定	2,366,008	9,631
その他(純額)	1,567,682	2,224,203
有形固定資産合計	17,141,963	16,878,561
無形固定資産	12,855	15,154
投資その他の資産		
その他	858,539	842,603
貸倒引当金	△64,943	△21,428
投資その他の資産合計	793,595	821,175
固定資産合計	17,948,414	17,714,892
資産合計	21,405,401	21,136,361
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	923,369	693,228
短期借入金	1,220,000	1,490,000
1年内返済予定の長期借入金	1,215,727	1,350,511
リース債務	69,641	46,686
未払金	1,454,720	137,136
未払法人税等	56,261	228,476
賞与引当金	60,910	72,050
その他	222,678	361,952
流動負債合計	5,223,308	4,380,042
固定負債		
長期借入金	3,622,509	3,763,329
リース債務	169,131	188,729
退職給付に係る負債	96,142	100,766
その他	4,635	4,635
固定負債合計	3,892,418	4,057,460
負債合計	9,115,727	8,437,503

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,287,468	2,287,468
資本剰余金	2,082,981	2,082,981
利益剰余金	7,387,284	7,736,088
自己株式	△9,593	△21,767
株主資本合計	11,748,141	12,084,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,115	99,934
退職給付に係る調整累計額	3,063	1,531
その他の包括利益累計額合計	81,178	101,466
非支配株主持分	460,353	512,620
純資産合計	12,289,674	12,698,857
負債純資産合計	21,405,401	21,136,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	7,806,288	7,031,565
売上原価	6,500,452	5,652,763
売上総利益	1,305,836	1,378,802
販売費及び一般管理費	708,679	737,331
営業利益	597,157	641,470
営業外収益		
受取利息	25	5
受取配当金	5,220	4,080
受取保険金	491	8,917
受取補償金	3,558	—
出資金運用益	—	18,892
その他	3,139	10,644
営業外収益合計	12,434	42,540
営業外費用		
支払利息	5,761	6,351
保険解約損	10,157	—
その他	3,603	199
営業外費用合計	19,522	6,550
経常利益	590,070	677,459
特別利益		
固定資産売却益	—	10,443
補助金収入	—	55,449
特別利益合計	—	65,892
特別損失		
固定資産売却損	—	30
固定資産除却損	682	9,997
固定資産圧縮損	—	55,407
特別損失合計	682	65,436
税金等調整前四半期純利益	589,387	677,916
法人税、住民税及び事業税	137,085	215,256
法人税等調整額	40,218	1,255
法人税等合計	177,303	216,512
四半期純利益	412,084	461,403
非支配株主に帰属する四半期純利益	51,916	61,086
親会社株主に帰属する四半期純利益	360,167	400,317

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	412,084	461,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59,345	21,819
退職給付に係る調整額	2,366	△1,531
その他の包括利益合計	△56,978	20,287
四半期包括利益	355,105	481,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,189	420,604
非支配株主に係る四半期包括利益	51,916	61,086

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社グループは、従来、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間から、定額法に変更いたしました。

この変更は、新リサイクルセンターの建設を契機に有形固定資産の使用実態を調査した結果、設備の稼働率や補修費の発生が概ね安定的に推移しており、今後も安定的な稼働が見込まれることから、期間損益計算をより適正に行うためには耐用年数にわたり均等に費用配分を行うことが適切であると判断したためであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ138,137千円増加しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボ ードリサイ クル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,734,823	767,434	7,502,258	304,030	7,806,288	—	7,806,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,557	4,557	94,427	98,984	△98,984	—
計	6,734,823	771,991	7,506,815	398,458	7,905,273	△98,984	7,806,288
セグメント利益	743,063	161,720	904,783	35,913	940,696	△343,539	597,157

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業、PCB事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△343,539千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボ ードリサイ クル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,461,456	972,233	6,433,690	597,875	7,031,565	—	7,031,565
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,514	6,514	106,202	112,717	△112,717	—
計	5,461,456	978,748	6,440,205	704,077	7,144,282	△112,717	7,031,565
セグメント利益	681,979	201,623	883,603	129,070	1,012,673	△371,202	641,470

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境分析事業、BDF事業、PCB事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△371,202千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。